

卒業証書授与式挙行

3月3日(金)、本校体育館に於いて、平成25年度 第66回卒業証書授与式が挙行され、376名の卒業生がそれぞれの新しい世界に巣立ちました。小山宣樹校長は式辞の中で「平成26年度、本校は創立100周年を迎えます。記念事業として、トレーニング棟の建設、モニュメントの設置、野球部の池田高校との記念試合、秋の記念式典等が予定されています。記念事業のメインテーマは『未来につなげ和工の伝統』ですが、本校は、その伝統を踏まえ新たな教育活動を展開します。皆さんには社会の変化に対応し、リードする存在になってほしいと思います。そして、社会の現状から多くのことを学び、自ら動く意志を持って進んで下さい。母校はいつの日も、皆さんを見守っています」と述べました。また、県教育委員会をはじめ、同窓会会長、育友会会長様からも門出に際しての心温まるご祝辞をいただき、卒業生たちは一人ひとりの未来へと旅立ちました。



人権 LHR 講演会を開催

2月12日(水)、NPO 法人白浜レスキューネットワーク理事長の藤敷庸一氏を講師にお迎えし、1、2年生に「生きることを考える」をテーマとした講演をしていただきました。藤敷先生は1999年に郷里の白浜パプテスト協会の牧師となり、「いのちの電話」での相談とともに、三段壁を訪れる自殺志願者を保護し、教会等での共同生活を通じて自立をめざす支援活動を行っておられます。この日はDVDによる活動の紹介の後、ご自身の若いころの体験談を話され、最後に「志」や「良心」の大切なことを生徒たちに語りかけて下さり、心に残る講演会となりました。なお、先生の著書『「自殺志願者」でも立ち直れる』は本校図書館でも貸出中です。先生や活動について、もっと知りたい人は、ぜひ一読してみてください。



神像のレプリカを奉納

2月7日(金)、産業デザイン科3年生の3次元モデリング研究班が、作製した神像のレプリカを、かつらぎ町にある三谷薬師堂に奉納しました。同研究班は、3年前より和歌山県立博物館と連携して、3Dプリンタを用いて文化財のレプリカを作製しています。当日は、御住職をはじめ、地域の多くの皆さんに迎えていただき、レプリカの贈呈を行った後、法要も営まれました。また、県立博物館より感謝状もいただきました。地域の皆さんにも大変喜んでいただき、生徒たちも頑張って製作した甲斐がありました。



和歌山大学より学校訪問

2月20日(木)、和歌山大学の学生11名(システム工学部10名、観光学部1名)と引率の2名の先生が本校を訪問されました。一行は主に創造技術科、産業デザイン科、化学技術科の施設・設備等を見学しました。創造技術科では、最先端のロボドリルやウォータージェットによる加工について、産業デザイン科では、レーザー加工機の見学や3D切削機・造形機等による3DCAD・CAM技術の体験、化学技術科では、連続精留装置、廃油燃料化装置、廃プラスチック混合溶融再生システム等を見学し、リサイクルや地球に優しいものづくりについてそれぞれ学びました。和歌山大学とは今後も連携・交流を継続したいと考えています。



4月の行事予定

4日	(金)	離任式
8日	(火)	新任式 始業式
9日	(水)	入学式
10日	(木)	対面式

